

協会けんぽ秋田支部における「傷病名」等に着目した時間外受診抑制のための検討

秋田支部 企画総務グループ 主任 高橋 耕平

スタッフ 澤口 駿

秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座 教授 野村 恭子

秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座 講師 岩田 豊人

概要

【目的】

診療時間外に患者都合で緊急性のない受診を行うことを「コンビニ受診」と呼び、問題視されている。「コンビニ受診」を抑制することは、緊急性の高い患者を優先するという観点からも、医師・医療従事者の負担軽減の観点からも、医療費削減の観点からも重要である。また、協会けんぽ秋田支部の2018年度の再診における診療時間外受診に関する診療行為標準化レセプト出現比（SCR）は全国で3番目に高い数値となっている。これらの背景から、協会けんぽ秋田支部の再診における診療時間外レセプト件数の適正化を目的に検討を行う。

【方法】

協会けんぽ秋田支部の2019年度の医科レセプトデータを用い、診療時間外受診に関する診療行為について、18歳以上の秋田県内居住者に限定して、「傷病名」等に着目した検討を行った。

【結果】

初診に比べて再診の「夜間・早朝」割合（[男性]初診24.6%・再診70.6%、[女性]初診35.2%・再診68.4%）が高いことに加えて、被扶養者に比べて被保険者の「夜間・早朝」割合（[男性]初診48.3%・再診39.1%、[女性]初診56.9%・再診41.7%）が高い傾向がみられた。また、重症度・緊急度が高くないと推測できる傷病とそれ以外の傷病を比べると、前者の再診割合が高い傾向がみられた。

【考察】

重症度・緊急度が高くないと推測できる傷病における被保険者の「夜間・早朝」の再診レセプト件数の多さが協会けんぽ秋田支部の平均値を押し上げている原因の1つであると考えられるため、当該対象者への啓発等の重要性が示唆された。

【目的】

診療時間外に患者都合で緊急性のない受診を行うことを「コンビニ受診」と呼び、問題視されている。「コンビニ受診」を抑制することは、緊急性の高い患者を優先するという観点からも、医師の負担軽減の観点からも、医療費削減の観点からも重要である。また、協会けんぽ秋田支部の2018年度の再診における診療時間外受診に関する診療行為標準化レセプト出現比（SCR）は全国で3番目に高い数値となっている¹⁾。これらの背景から、協会けんぽ秋田支部の再診における診療時間外レセプト件数の抑制を目的に検討を行う。

【方法】

協会けんぽ秋田支部の2019年度（2018.4.1～2019.3.31）の医科レセプトデータを用い、診療時間外受診に関する診療行為について、18歳以上の秋田県内居住者に限定して、男女別の時間帯別の件数割合を初診と再診、被保険者と被扶養者で χ^2 検定を用いて2×4のクロス表で比較し調整済み残差を見た。また、「傷病名」等に注目しレセプトの傷病名（文字列）をICD10コードに変換し、男女別かつ被保険者・被扶養者別に重症度・緊急度が低い傷病の件数割合を χ^2 検定を用いて2×4のクロス表で比較し調整済み残差を見た。緊急度が低いといえる定義は、平成16年3月財団法人救急振興財団「救急搬送における重症度・緊急度判定基準作成委員会」報告書²⁾の10症状別重症度・緊急度判断基準（外傷・熱傷・中毒・意識障害・胸痛・呼吸困難・消化管出血・腹痛・周産期・乳幼児）を参考に傷病名から緊急を要するか否かを判断し、支払い件数上位50位内における14傷病を「重症度・緊急度が低い傷病」として定義（ICD10コード：**E780,E785,H101,H442,H521,H522,J304,K635,L209,L309,L509,L700,L853,M5456**）し、男女別かつ被保険者・被扶養者別に重症度・緊急度が高い傷病の件数割合を χ^2 検定を用いて2×4のクロス表で比較し調整済み残差を見た。

【結果】

診療時間外の時間帯別件数（%）については、初診に比べて再診の「夜間・早朝」割合が高く（[男性]初診24.6%・再診70.6%、[女性]初診35.2%・再診68.4%）（表1）、被扶養者に比べて被保険者の「夜間・早朝」割合が高い傾向がみられた（[男性]初診48.3%・再診39.1%、[女性]初診56.9%・再診：41.7%）（表2）。また、傷病名をICD10コードに変換して支払い件数上位50位までの範囲で比較した結果、初診の場合、重症度・緊急度が低いと推測できる傷病の割合が13.4%（8傷病）に対し（表3）、再診

の場合は 33.0% (14 傷病) であった (表 4)。さらに、重症度・緊急度が高くないと推測できる傷病とそれ以外の傷病を比べると、前者の再診割合が高い傾向がみられた (表 5)。

【考察】

秋田県内の主な医療機関が「夜間・早朝」と設定している時間帯は、通常 18 時～20 時 (平日) であり、一般的に仕事終わりに通いやすい時間帯といわれている。そのため、仕事をしている被保険者の再診における「夜間・早朝」割合が高いという結果は、勤務時間中の医療機関受診を行わずに、勤務時間終了後の医療機関受診を行う傾向があることが示唆される。また、重症度・緊急度が高くないと推測できる傷病の割合が初診よりも再診の方が高い割合になったこと及び重症度・緊急度が高くないと推測できる傷病における再診の割合がそれ以外の傷病よりも高い傾向がみられたことは、慢性疾患の患者が繰り返し時間外受診をしていることが示唆される。

以上より、重症度・緊急度が高くないと推測できる傷病で繰り返し時間外受診している患者への「上手な医療のかかり方」の啓発等が必要と考える。

また、時間外受診が多いのは被保険者や女性であることから、日中の医療機関受診を我慢させない職場環境づくりの啓発や、性別の違いによる受診状況のさらなる検討が必要と考える。

【備考】

第 70 回東北公衆衛生学会 (令和 3 年 7 月 23 日) で発表。

- 1) 令和 2 年 7 月 27 日全国健康保険協会第 104 回運営委員会資料
- 2) 平成 16 年 3 月財団法人救急振興財団「救急搬送における重症度・緊急度判定基準作成委員会」報告書

(表1)時間外給付の時間帯別件数(%) ~初診・再診~

	初診	再診	割合差(p)
【男性】			
時間外	3,778 (28.7)	1,647(12.6)	<0.0001
夜間・早朝	3,243(24.6)	9,216(70.6)	<0.0001
深夜	1,397(10.6)	571(4.4)	<0.0001
休日	4,766(36.2)	1,621(12.4)	<0.0001
合計	13,184(100)	13,055(100)	
【女性】			
時間外	3,986(23.9)	2,455 (13.6)	<0.0001
夜間・早朝	5,867(35.2)	12,380(68.4)	<0.0001
深夜	1,433(8.6)	717 (4.0)	<0.0001
休日	5,394(32.3)	2,546 (14.1)	<0.0001
合計	16,680(100)	18,098(100)	

(表2)時間外給付の時間帯別件数(%) ~被保険者・被扶養者

	被保険者	被扶養者	割合差(p)
【男性】			
時間外	4,842 (20.2)	583 (26.0)	<0.0001
夜間・早朝	11,582(48.3)	877 (39.1)	<0.0001
深夜	1,751 (7.3)	217 (9.7)	<0.0001
休日	5,823 (24.3)	564 (25.2)	<0.0001
合計	23,998(100)	2,241(100)	
【女性】			
時間外	4,074 (16.5)	2,367(23.3)	<0.0001
夜間・早朝	14,015(56.9)	4,232(41.7)	<0.0001
深夜	1,276 (5.2)	874 (8.6)	<0.0001
休日	5,268 (21.4)	2,672(26.3)	<0.0001
合計	24,633(100)	10,145(100)	

(表3) 初診時間外診療レセプト「傷病名」の内容

「傷病名」はICD10コードに変換して、支払件数上位50位まで表示

ICD10コード	傷病名	件数
J069	急性上気道炎	2610
J111	インフルエンザ	1874
A099	急性胃腸炎	1812
J209	急性気管支炎	1693
J101	インフルエンザA型	1456
J029	咽喉炎	851
J304	アレルギー性鼻炎	614
L309	湿疹	586
H522	乱視	570
J060	急性咽喉嚢頭炎	430
R51	頭痛	363
J039	急性扁桃炎	343
A090	感染性胃腸炎	336
T634	虫刺傷	315
L509	じんま疹	300
E86	脱水症	299
R509	発熱	291
K291	急性胃炎	284
R11	悪心及び嘔吐	239
J00	急性鼻咽喉炎	232
M5456	腰痛症	232
T141	部位不明の開放創	219
J459	気管支喘息	218
T140	部位不明の表皮損傷	216
D65	播種性血管内凝固	214
I619	脳出血	198
I10	高血圧症	194
L089	皮膚感染症	194

ICD10コード	傷病名	件数
R42	めまい症	191
E14	糖尿病	175
S610	指関節創	172
K259	胃潰瘍	168
B029	帯状疱疹	165
J189	肺炎	151
N201	尿管結石	141
N309	膀胱炎	138
H101	アレルギー性結膜炎	132
K567	イレウス	132
L209	アトピー性皮膚炎	129
H109	結膜炎	127
N649	乳腺症	127
J019	急性副鼻腔炎	127
L700	尋常性ざ瘡<アクネ>	127
L259	接触皮膚炎	124
F411	不安神経症	113
R104	腹痛症	106
N300	急性膀胱炎	103
A491	溶連菌感染症	99
I499	不整脈	98
K210	逆流性食道炎	96

合計：20,124件

重症度・緊急度が
ないと推測できる傷病
→「8傷病」合計：2,690件
【13.40%】※2,690/20,124

(表4) 再診時間外診療レセプト「傷病名」の内容

「傷病名」はICD10コードに変換して、支払件数上位50位まで表示

ICD10コード	傷病名	件数
I10	高血圧症	3081
H522	乱視	2051
J304	アレルギー性鼻炎	936
J459	気管支喘息	887
G473	睡眠時無呼吸症候群	721
E785	高脂血症	680
F329	うつ病	642
E14	糖尿病	612
F489	神経症	539
J069	急性上気道炎	443
L309	湿疹	409
K295	慢性胃炎	403
L209	アトピー性皮膚炎	390
J209	急性気管支炎	357
J111	インフルエンザ	284
K635	大腸ポリープ	268
H521	近視	262
E780	高コレステロール血症	256
A099	急性胃腸炎	256
F209	統合失調症	240
N40	前立腺肥大症	239
G470	不眠症	237
O200	切迫流産	228
N979	原発性不明不妊症	224
K590	便秘	221
F319	躁うつ病	217
E283	卵巣機能不全症	212
E049	甲状腺腫	209

ICD10コード	傷病名	件数
M5456	腰痛症	206
L700	尋常性ざ瘡<アクネ>	204
N946	月経困難症	193
D509	鉄欠乏性貧血	192
K259	胃潰瘍	187
K210	逆流性食道炎	177
D391	卵巣腫瘍	176
H442	変性近視	176
L509	じんま疹	169
E11	2型糖尿病	167
R51	頭痛	166
R42	めまい症	165
L853	皮脂欠乏性湿疹	153
H101	アレルギー性結膜炎	152
D259	子宮筋腫	149
N951	更年期症候群	149
J029	咽喉炎	147
M171	変形性膝関節症	144
N86	子宮頸部びらん	139
K649	痔核	134
F432	通院障害	128
C509	乳がん	127

合計：19,104件

重症度・緊急度が
ないと推測できる傷病
→「14傷病」合計：6,312件
【33.04%】※6,312/19,104

(表5)重要度・緊急度が高くない推測できる傷病とそれ以外の傷病の再診割合

	重症度・緊急度が高くない傷病件数 (再診割合)	それ以外の傷病件数 (再診割合)	合計	割合差
男性被保険者	3,294 (67.0%)	20,704 (47.5%)	23,998	<0.0001
女性被保険者	4,369 (70.1%)	20,264 (48.9%)	24,633	<0.0001
男性被扶養者	342 (54.3%)	1,899 (43.2%)	2,241	<0.0001
女性被扶養者	1,243 (63.2%)	8,902 (48.8%)	10,145	<0.0001